

幼児教育施設様限定募集！

モルモットを飼ってみませんか？

平成29年度公示の新幼稚園教育要領に、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿（10の姿）」が示されました。これまでにはなかった新しいものであることから、保育の「到達目標」のように解釈されるのではないかと懸念の声が上がり、多くの議論が交わされてきました。もちろん、これは私たち保育者が、保育の質を自己評価し、改善に結びつけるためのものであり、また、幼小接続のための小学校担任との有効な情報ツールでもあります。要は、豊かな遊びによって、必要な経験をバランス良くさせて成長をうながしながら、「幼児教育」の質を揃えようというものだろうと考えています。そのために、私たち保育者は「環境の構成」と「援助」により、それを実現していくことになったということです。

10の姿の中に、**（7）自然との関わり・生命尊重**があります。

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切に
する気持ちをもって関わるようになる。

これからは、園生活や遊びを通して、このような姿が見られるようになって欲しいと願い「環境の構成」をすることが必要であろうと思います。

さて、その「環境」の一つとして、本園ではモルモットの飼育をしています。モルモットは、性質が優しく幼児が扱うのに適している上、名前を呼ぶと反応するなどの知能もあり、愛着の持てる動物です。適切な配慮のもとで妊娠や出産をさせることもでき、生命を身近に感じる貴重な体験をさせることもできます。



今、本園には、昨年末に誕生した子どものモルモットが2匹おり、里親を捜しています。飼育してみたい園がありましたら、どうぞご連絡下さい。無料でお譲りします。

【連絡先】

大分大学教育学部附属幼稚園

園長 石川 照代

TEL:097-544-4449